親鸞聖人 報恩講

（しんらんしょうにん ほうおんこう）

謹啓　お彼岸が過ぎ、秋の気配が近づいて参りました。ご門徒の皆様には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。本年も宗祖親鸞聖人の「報恩講」を皆様と共に厳修させていただきます。浄土真宗の教えとのご縁を深めて頂きたく、ここにご案内申し上げます。万障お繰り合わせの上、ご参集くださる事を切に念じております。　合掌

門信徒各位

２０２６年９月

住職・責任役員・総代・世話人一同

日　時　１０月２５日(日)　午後２時開会、４時頃まで

（受付は１時半より。日程の詳細は裏面をご覧ください。）

法　話　当山住職　　稱名寺住職　本多暁

講　題　「報恩講（ほうおんこう）　―ほんこさん―」

会　場　稱名寺（しょうみょうじ）　　参加費　こころざし

持参品　お念珠　お持ちの方は、勤行本・肩衣

申込不要は不要です。服装は平服で結構です。
天候によっては寒さ対策もお願いします。

真宗大谷派　稱名寺　〒212-0053　神奈川県川崎市幸区下平間 183　TEL：044-511-1674　https://shomyo-ji.com/

本年の報恩講について

本年の報恩講は25日一座のみとさせていただきます。お勤めは、昨年の住職襲職式で使用した勤行本(黄本)を使ってご門徒の皆様と正信偈同朋奉賛のお勤めを致します。また、法話は、外からの先生ではなく、当山住職として私がお話しさせていただきます。

昨年の御遠忌法要・住職襲職式を経て、改めて皆様と共に、浄土真宗のお寺、親鸞聖人のお寺としての稱名寺の歩みを報恩講にたずねて参ります。住職

報恩講日程　１０月２５日(日)

午後１時半	受付	
午後２時	開会	真宗宗歌・住職挨拶
	勤行次第説明	
	日中(にっちゅう)法要	お勤め（正信偈）
	休憩	
午後３時頃	法話	稱名寺住職
午後４時頃	閉会	住職挨拶・門徒代表挨拶・恩徳讃
終了後	懇親会	庫裏にて

報恩講(ほうおんこう)について

宗祖親鸞聖人は、1262(弘長2)年11月28日に、90歳のご生涯を終えられました。親鸞聖人をはじめ、お念仏の教えに生きられた先達に思いをいたし、その恩徳に感謝し報いる集い（講）が報恩講です。一人ひとりがお念仏の教えを聴聞し、自分の生活を振り返る、一年でもっとも大切な御仏事です。

聖人のご一生は、「ついに念仏の息たえましましおわりぬ」と、まさに念仏に貫かれたものでした。

報恩講は、人々が寄り合い、共にふれ合いつつ聞法する場として、今日まで全国各地の寺院やご門徒の家々において、脈々と勤められてきました。

※10月の「同朋の会」は休会です。

「お磨(みが)き奉仕」のお願い　―　１０月１９日（月）午前９時より昼頃迄　―

作業しやすい服装で、お時間にお寺までお越し下さい。初めての方も是非ご協力ください。申込不要です。今回も、午前中のみとし、仏具磨きを中心に、出来る範囲で境内や庫裏の清掃、お昼頃までに終了します。

なお、お昼はお弁当を用意致しますが、持ち帰らず、庫裏で食べていただいても結構です。　（ご奉仕可能な時間だけでも結構です）